

## 第5章

# 計画の進行管理と 目標の評価方法

## 1 計画の進行管理

本計画を効果的・効率的に推進していくため、「計画の策定（Plan）」→「事業の実施（Do）」→「事業の評価・検証（Check）」→「計画の改善（Action）」という、PDCAサイクルによるマネジメントを実施し、毎年度を1サイクルとして、適切な進行管理を行います。

また、本市の総合計画や関連する計画との整合性を図るとともに、健康づくり推進懇談会等に、定期的に進捗状況を報告し意見を聞く中で、本市の実情に合わせた健康づくり施策を推進していきます。

なお、社会情勢の変化や国の制度改正等により、新たに対応すべき課題が生じた場合や、評価・検証の結果等に基づき、計画年度中であっても必要に応じて、適宜見直しを行います。

また、高松市民の健康づくりに関する調査等を、本市ホームページにて公開するとともに、市民の意見を計画に反映するよう努めます。



## 2 目標項目と目標値

計画の適切な進行管理のために設定する、分野別の目標項目と目標値については次の表のとおりとします。

## 【目標項目等の一覧】

表中の「策定時の値」は、2014（平成26）年の策定時の状況です。ただし、「※」の値は、中間見直し版策定時の状況です。

### 方策1

### 生活習慣の改善

#### (1) 栄養・食生活・食育

目標項目（★：重点目標）		策定時の値	目標値	単位
★ 野菜の平均摂取量の増加	20歳以上	281.3	350	g
食塩の平均摂取量の減少	20歳以上	9.3	8	g
★ 朝食欠食者の減少	男性(20～39歳)	20.7	15以下	%
	幼児(1歳6か月児)	5.0	0	
	幼児(3歳児)	5.9	0	
	小学生	13.4	0	
	中学生	15.4	0	
家族と一緒に、朝食や夕食を食べる回数の増加（家族と同居している人のみ）		週7.8	週10	回
1人で朝食を食べる幼児の減少	幼児(1歳6か月児・3歳児)	7.0	6.9	%
1人で夕食を食べる幼児の減少	幼児(1歳6か月児・3歳児)	2.7	2.6	%
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加	20～64歳	33.0	80	%
	65歳以上	55.4	80	
常に栄養のバランスや食事の量を考えて食べるようにしている人の割合の増加	男性(18～64歳)	24.2	80	%
	女性(18～64歳)	40.6	80	
	男性(65歳以上)	54.0	80	
	女性(65歳以上)	59.7	80	
目標とするBMI(18.5～24.9)の範囲内の人の割合の増加	18～49歳	67.1 <sup>※</sup>	68.5	%
目標とするBMI(20.0～24.9)の範囲内の人の割合の増加	50～69歳	56.9 <sup>※</sup>	60.8	
目標とするBMI(21.5～24.9)の範囲内の人の割合の増加	70歳以上	41.8 <sup>※</sup>	43.0	
食育に関心がある人の増加	男性(20～64歳)	43.2	90	%
	女性(20～64歳)	73.8	90	
	男性(65歳以上)	55.9	90	
	女性(65歳以上)	65.1	90	
食育に関わるボランティア数の増加	食生活改善推進員	538	600	人
	その他ボランティア	2,718	3,500	人
ヘルシーたかまつ協力店の増加		145	250	店
学校給食における地場産物の利用の増加(食材ベース)		28.7	35	%

## (2) 身体活動・運動

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
★ 日常生活の中で意識して身体を動かしている人の割合の増加	男性	35.6	10%増加	%
	女性	27.7		
定期的に運動をしていない人の割合の減少	男性(30歳～49歳)	58.3	20%減少	%
	女性(30歳～49歳)	75.0		
★ 日常生活における平均的な歩数の増加	男性(20歳～69歳)	7,315	+1,000以上	歩
	女性(20歳～69歳)	7,129		
	男性(70歳以上)	5,586		
	女性(70歳以上)	4,716		
のびのび元気体操の年間実施の増加	実施回数	824	2,000	回
	参加人数	15,264	30,000	人
ロコモティブシンドロームの認知率の向上		20.8	80	%
ウォーキングイベント参加者数の増加		6,938 <sup>※</sup>	10,000	人

## (3) こころの健康・休養

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
趣味や楽しみを持って生活している人の割合の増加	男性	80.4	85以上	%
	女性	80.7		
最近1か月間にストレスを感じた人の割合の減少	男性	67.9	60以下	%
	女性	80.8	70以下	
★ 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少	20歳以上	26.5 <sup>※</sup>	26.5未満	%
自分の健康をよりよくすることを普段から実践している人の割合の増加	男性	63.1	70以上	%
	女性	60.5		
★ こころの健康について学ぶ人の割合の増加	男性	5.7	10以上	%
	女性	8.0		
自殺者数の減少		57 <sup>※</sup>	53以下	人
ゲートキーパーの認知度の向上		18.3 <sup>※</sup>	28.3	%

## (4) 飲 酒

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
★ ほぼ毎日飲酒している人の割合の減少	男性	49.3	減らす	%
	女性	19.2		
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)の割合の減少	男性	14.8 <sup>※</sup>	14.8未満	%
	女性	12.4 <sup>※</sup>	12.4未満	
アルコールの害について学ぶ人の割合の増加	男性	6.0	増やす	%
	女性	5.0		
★ 妊娠中の飲酒をなくす	女性	1.0	0	%

## (5)喫煙

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
がんによる年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	180.0	144.0	人口10万対
	女性	99.9	79.9	
虚血性心疾患による年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	39.5	14.8	人口10万対
	女性	11.8	5.5	
脳血管疾患による年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	40.1	26.4	人口10万対
	女性	20.4	16.6	
★ たばこを吸う人の割合の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	男性	26.1	14.6	%
	女性	7.7	5.6	
たばこの害について学ぶ人の割合の増加	男性	7.1	30	%
	女性	6.0		
市有施設 <sup>(注1)</sup> の敷地内禁煙・建物内禁煙実施率(2018(平成30)年度 100%)		100 <sup>※</sup>	100	%
★ 妊娠中の喫煙をなくす		3.0	0	%
COPDの認知度の向上	男性	31.2	80	%
	女性	37.1		

(注1) 市有施設は、健康増進法で定める第一種施設

## (6)歯と口腔の健康

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
★ 自分の歯や口の状態にほぼ満足している人の割合の増加	男性	30.2	50以上	%
	女性	29.9		
う歯のない幼児の割合の増加	3歳児	76.7	90以上	%
★ 歯間ブラシなどでていねいに歯をみがく人の割合の増加	男性	22.8	50以上	%
	女性	33.6		
よくかんで食べる人の割合の増加	男性	19.7	50以上	%
	女性	25.1		
過去1年間に歯科健診を受けた人の割合の増加	20歳以上	41.2	65	%
歯肉の炎症を有する中学生の割合の減少	男子	34.49	27	%
	女子	27.57	20	
60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合の増加	60歳	82.8	90	%
★ 80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合の増加	75~84歳	— <sup>※</sup>	60	%

## 方策2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

### (1)がん

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位	
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	93.7	75.0	人口10万対	
	女性	62.4	49.9		
★ がん検診受診率の向上	胃がん	40～69歳	50.5 <sup>※</sup>	60	%
	大腸がん	40～69歳	53.9 <sup>※</sup>		
	肺がん	40～69歳	58.1 <sup>※</sup>		
	子宮頸がん	20～69歳	57.2 <sup>※</sup>		
	乳がん	40～69歳	53.0 <sup>※</sup>		
がん検診精密検査受診率の向上 <sup>(注2)</sup>	胃・大腸・肺・子宮頸・乳がん	75.3 <sup>※</sup>	90.0	%	

(注2) 高松市の実施するがん検診の精密検査受診率

### (2)循環器疾患

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
脳血管疾患による年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(再掲)	男性	40.1	26.4	人口10万対
	女性	20.4	16.6	
虚血性心疾患による年齢調整死亡率の減少(人口10万対)(再掲)	男性	39.5	14.8	人口10万対
	女性	11.8	5.5	
★ 収縮期血圧の平均値の低下 (国保・後期高齢者医療:40～89歳、服薬者含む)	男性	130	129	mmHg
	女性	130	129	
★ 脂質異常症該当者の割合の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の人の割合) (国保・後期高齢者医療:40～79歳、服薬者含む)	男性	5.2	5.2	%
	女性	10.1	8.8	
メタボリックシンドローム該当者の割合の減少(国保:40～74歳)	男性	32.6	24.0	%
	女性	11.9	9.5	
メタボリックシンドローム予備群の割合の減少(国保:40～74歳)	男性	17.3	12.8	%
	女性	5.9	5.5	
特定健康診査受診率の向上(国保:40～74歳)	男性	35.2	60	%
	女性	46.9		
特定保健指導実施率の向上(国保:40～74歳)	男性	15.0	60	%
	女性	19.9		

### (3)糖尿病

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
ヘモグロビンA1c値の認知度の向上		58.3 <sup>※</sup>	80	%
人工透析のレセプト分析における糖尿病の割合の減少(国保:40～74歳)		37.22	37	%
★ 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.0% [NGSP値] 以上の人の割合)(国保:40～74歳)		— <sup>※</sup>	1.0	%
★ 糖尿病が強く疑われる人の割合の減少 (HbA1c6.5% [NGSP値] 以上の人の割合)(国保:40～74歳)		7.9	7.1	%

# 方策3 ライフステージに応じた健康づくりの推進

## (1)次世代の健康

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位	
★ 妊婦健康診査の受診回数の増加		11.8	12	回	
電子母子健康手帳のユーザー登録者数の増加		1,623 <sup>※</sup>	7,600	人	
★ 1歳6か月児健康診査の受診率の向上		89.6	95	%	
★ 3歳児健康診査の受診率の向上		83.2	90	%	
肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学生(5年男子)	7.53 <sup>※</sup>	7.5	%	
	小学生(5年女子)	6.73 <sup>※</sup>	6.7		
	中学生(2年男子)	6.87 <sup>※</sup>	6.8		
	中学生(2年女子)	7.62 <sup>※</sup>	7.6		
1週間の総運動時間60分未満の子どもの割合の減少	小学生(5年男子)	5.6 <sup>※</sup>	5.5	%	
	小学生(5年女子)	9.1 <sup>※</sup>	9.0		
	中学生(2年男子)	5.8 <sup>※</sup>	5.7		
	中学生(2年女子)	17.0 <sup>※</sup>	16.9		
朝食欠食者の減少(再掲)	幼児(1歳6か月児)	5.0	0	%	
	幼児(3歳児)	5.9	0		
	小学生	13.4	0		
	中学生	15.4	0		
小児生活習慣病予防検診における二次検診受診者の改善率の向上		小学生(4年)	37.8 <sup>※</sup>	46	%

## (2)青壮年期の健康

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
★ 特定健康診査受診率の向上(国保)	男性(40~64歳)	25.0	44.0	%
	女性(40~64歳)	35.2		
★ メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少(国保)	男性(40~64歳)	49.5	38	%
	女性(40~64歳)	13.8	10	
★ 特定保健指導実施率の向上(国保)	男性(40~64歳)	10.6	60	%
	女性(40~64歳)	18.5		
日常生活における平均的な歩数の増加(再掲)	男性(20~69歳)	7,315	+1,000以上	歩
	女性(20~69歳)	7,129		
睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少	男性(40~59歳)	35.2 <sup>※</sup>	35.2未満	%
	女性(40~59歳)	32.9 <sup>※</sup>	32.9未満	
	20歳以上(再掲)	26.5 <sup>※</sup>	26.5未満	

### (3)高齢者の健康

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
★ 要介護(要支援)認定率上昇傾向の抑制(第1号被保険者)		20.9	上昇傾向の抑制	%
特定健康診査受診率の向上(国保:65歳~74歳)		51.6 <sup>※</sup>	71.2	%
後期高齢者医療健康診査受診率の向上(75歳以上)		47.4 <sup>※</sup>	前年度以上	%
地域の人々の支え合いの割合の向上		42.5	65	%
★ 認知症サポーター数の増加		13,322	49,000	人
元気を広げる人の活動の増加	人数	593	1,000	人
	活動回数	990	3,300	回
	参加人数	21,868	60,000	人
のびのび元気体操の年間実施の増加(再掲)	実施回数	824	2,000	回
	参加人数	15,264	30,000	人
★ ロコモティブシンドロームの認知率の向上(再掲)		20.8	80	%
80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合の増加(再掲)	75~84歳	— <sup>※</sup>	60	%
高齢者の交通事故死亡率の減少(人口10万対)		14.8	5.84	人口10万対
高齢者の交通安全教室の開催の増加		7	20	回

## 方策4 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標項目 (★:重点目標)		策定時の値	目標値	単位
地域の人々の支え合いの割合の向上(再掲)		42.5	65	%
地縁的な活動をしている人の割合の増加		38.4	42.6	%
★ 食生活改善推進員の活動の増加	人数(再掲)	538	600	人
	実施回数	2,533	2,800	回
★ 元気を広げる人の活動の増加(再掲)	人数	593	1,000	人
	活動回数	990	3,300	回
	参加人数	21,868	60,000	人
★ 健康づくり実践団体登録数の増加		68	100	団体